

4人目の
地域おこし協力隊員
が就任しました!!

やまもと だい 山本 奈

観光資源としての
「スポーツの可能性」
を探ります!

【プロフィール】

名前 山本 奈 (愛称: だいちゃん)
年齢 24歳 (平成4年12月4日生)

出身 那須塩原市

仕事 矢板市地域おこし協力隊 (矢板市観光協会の事務局スタッフ)

経歴 ヴェルフェたかはら那須 (NPO 法人たかはら那須スポーツクラブ) 事務兼コーチ
大学在学中、学生団体「World Fut」に参画し、カンボジアなどでイベント収益を
基にした校舎建設やサッカー関連の支援、現地でのサッカー教室などを開催。
アジアサッカー研究所主催のサムライフットボールチャレンジ「海外サッカークラブ
実践体験プログラム」に参加し、プロチームの集客・啓発活動に従事。
Jリーグクラブでインターンとして、クラブ運営の現場を経験。
現在、ヴェルフェたかはら那須で、事務兼コーチとして活躍中。

開催 地域おこし協力隊活動報告会

日時 / 10月11日 (水) 10:00 ~ 12:00
場所 / 市役所本館 2階 会議室
内容 / 地域おこし協力隊としてこれまでに就任した
3人の隊員の、これまでの取り組みやその成果
などを発表します。
定員 / 40人

発表者 /
①長島 教之 (自転車を活用したプロモーション)
②神崎 裕樹 (スポーツツーリズムの推進)
③高橋 潔 (泉地区の活性化)
そのほか / 申込不要。直接会場までお越しください。
問い合わせ / 総合政策課 ☎ (43) 1112

9月1日 (金)、
矢板市で4人目の
地域おこし協力隊員
となる、山本奈さん
に委嘱状が交付され
ました。



齋藤市長から委嘱状を交付されました。

地域おこし協力隊
とは、矢板市の行政
課題や地域の課題
を解決する上で、必要な人材を確保するため、矢板市に
移住し、地域資源の発掘や地域ブランドの開発・販売・
PRなど、地域おこしの支援をする方のことです。

山本さんには、矢板市観光協会を拠点に「矢板市の隠
れた観光資源の掘り起こし・磨き上げ・PR」を目的と
して活動していただく予定です。

新たに地域おこし協力隊員の一人となった山本さんに、
お話を伺いました。

「地域おこし協力隊」に応募したきっかけは?



たかはら那須スポーツクラブで、子どもたちに
サッカーの楽しさを伝えています。

大学卒業後、市内
にある NPO 法人た
かはら那須スポー
ツクラブに事務兼サ
ッカー教室のコーチ
として就職し、地元
の那須塩原市から通
っていました。

矢板市が、スポー
ツを活用したまちづくりに力を入れて取り組んでいたこ
とは知っていましたし、今回の募集が「隠れた観光資源
を磨き上げる」という内容だったので、「観光と私の好
きなスポーツをうまく組み合わせることで、より魅力的
なまちとしてPR できるのではないか」と思い、応募し
ました。

山本さんにとってのサッカーとは?

小学生の時にサッカーを始めたのですが、人に自慢で
きるほどの成績は残せませんでした。ですが、サッカー
が持つ大きな魅力は人一倍理解しているつもりです。サ
ッカーに限ったことではないですが、スポーツには人を
集める力、注目される力があるので、スポーツ自体が立
派な観光資源となる可能性を秘めていると思います。

特にサッカーは、私の経験・体験を通してですが、
・初対面の人や、たとえ言葉が通じない人とでも楽しむ
ことができる
・年代や障がいの有無に関わらず、誰でもできる
・人を巻き込む力がある
といった魅力があるように思います。

大学生の時には「World Fut」という学生団体に所属し、
私が活動していた時は、国内でフットサル大会などのイ
ベントを開き、その収益を基にカンボジアのスマオンと

いう村にある小学校の校舎建設やサッカー関連の支援と
いった国際協力活動をしました。現地では、サッカー教
室や大会を開きましたが、その際、言葉の通じない現地
の子どもたちと一緒にサッカーを楽しめたことや「毎年
楽しみにしている」と感謝されたことがありました。

ほかに、アジアサッカー研究所が主催した「海外サッ
カークラブ実践体験プログラム」に参加し、タイのサッ
カー文化を学んだり、カンボジアでは、プロサッカーク
ラブの試合の集客活動や運動習慣のないカンボジア女性
を集めたフットサル大会を開催したりと、サッカーの楽
しさや魅力を人に伝える、体験してもらうといった活動
を行いました。

また、Jリーグクラブのインターンとして、試合や大
会などのクラブ運営に携わることができました。

学生時代、サッカーを通じたこれらの活動から得られ
た体験・経験が、私のサッカー人生の中で大きな糧にな
っています。



「海外サッカークラブ実践体験プログラム」では、カンボジアのプロサッカー
クラブの試合への集客活動を行い、多くの方が試合観戦に訪れました。

隊員として、どんなことに取り組みたいですか?

スポーツ単体でも、分野を絞り特化することで十分な
観光資源となりえると思いますが、スポーツと矢板市が
誇る自然を組み合わせることで、より魅力的な観光資源
に磨き上げることができるのではないかと考えています。
例えば、スポーツ大会に参加・観戦に来た人をターゲ
ットに、その前後で宿泊を伴った観光や自然体験をした
くなるような仕組みづくりなどに取り組みたいです。

ヴェルフェたかは
ら那須で広報も担
当しているのですが、
PR するときは、速
報性・伝わりやすさ
を考慮し、注目され
るためにはどうする
か、といったことを
常に考えて発信して
います。この考えは、観光資源をPR するときにも通じ
るのではないかと思います。

まずは、自分自身の足で市内を駆け回り、そして各分
野で活躍する人、地域の方たちの話を聞く中で、隠れた
観光資源のヒントを見つけ、磨き上げていきたいと思
います。



矢板市観光協会の事務局員として
矢板の強みとなる観光資源を探っています。